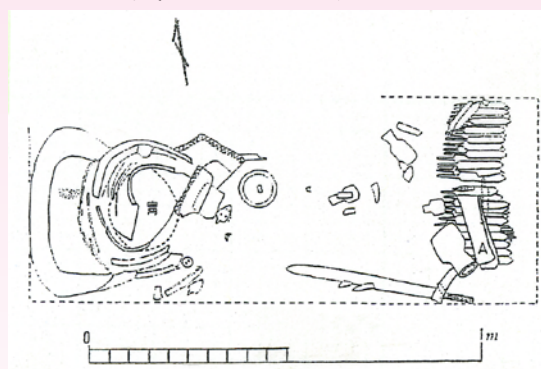


モノを納めた古墳

〜わき塚1号墳〜

伊賀市南部、名張市と境を接する丘陵上にわき塚古墳は所在しています。名張市北東部の台地上に広がる美旗古墳群の中で、最も北に位置する殿塚古墳が最初に築造されたとされ、その周りに造られた陪塚がわき塚古墳です。殿塚古墳の北側に2基の陪塚があり、昭和36年（1961）10月、伊賀地域を襲った集中豪雨で、わき塚古墳の土砂が近鉄大阪線の線路付近まで流れ出す災害が起きました。このため、関西在住の研究者の協力を得て、市教育委員会が緊急に発掘調査を実施しました。

この時の調査で、わき塚古墳の中で西側に位置する小型の方墳である1号墳から、多数の遺物が出土しました。1号墳の墳頂はほぼ中央部に長さ130cm、幅45〜52cm東西方向に主軸をとる長方形をした土坑があり、その西隅から甲冑が、またその前から銅鏡や石製品・玉類



▲土坑内遺物出土状況

が出土しました。甲冑や鏡には木質が付着した跡が残ることから、これらの物は木箱に入れられ納められたと考えられます。また、東側からは主に鉄鏃が出土しました。鉄鏃は鉄製の矢じりの部分のみが残っていましたが、当然矢柄に着けて副葬したと思われる。こういったことから考えると、わき塚1号墳の土坑には人体が埋葬されるスペースは存在せず、多数の副葬品のみを納めたものと考えられます。わき塚1号墳は「ヒトを埋葬した古墳」ではなく、「モノを納める」ことを意図して造られた古墳であったのです。

現在、わき塚1号墳の出土品の一部は、城之越学習館に展示中です。教育委員会生涯学習課

☎ 22・9681



▲調査中の1コマ  
中央：故末永雅雄博士  
右：森浩一さん（同志社大学名誉教授）

伊賀市の人口・世帯数

（平成20年12月31日現在）  
人口 101,650人  
（男）49,442人（女）52,208人  
世帯数 39,365世帯

青少年健全育成推進大会 ビバ・サタデー

健全育成推進大会ビバ・サタデーを開催しています。

今回は『アンサンブル・レネット』の皆さんに音楽会を行っていただき、子どもたちはドレミの歌に合わせて元気いっぱい踊りました。舞台上がってマラカスやタンバリンなどの楽器演奏に挑戦した子どもたちもいて、会場の掛け声に合わせて、上手に演奏できました。

また、『天満のとらやん』という大阪を舞台にした歌劇も上演され、とらやんのユーモア溢れる演技に、会場の大人も子どもも笑顔が絶えませんでした。



市は伊賀市子ども健全育成条例の中で、子どもを取り巻く社会環境の変化に対応した新しい時代の子どもの育成について、その基本理念、基本的な施策などを明らかにすることにより、市民が一体となって次代を担うすべての子どもの幸せと健やかな成長を図ることを目的としています。そして、子どもを育む行動計画として家庭・学校等・地域・企業・市の責務を明確にし、7つの項目からなる「輝け！いがっ子憲章」を策定しました。

このように、心豊かで思いやりのある青少年の育成を図り、市民と一体となって子どもの育成を推進するための事業として、青少年



市の花  
ササユリ



市の木  
アカマツ



市の鳥  
キジ

平成21年2月1日 発行／伊賀市 編集／企画振興部広聴広報課  
〒518-8501 伊賀市上野丸之内116番地  
☎ 22・9696 ㊚ 22・9617 <http://www.city.iga.lg.jp/>